



第12回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ最高賞・大賞

[マンガ部門 (一般)]

「元ヤン教師の教え子」 シュガーK

CLIP STUDIO PAINT

この度は第12回GUNMAマンガ・アニメフェスタ、マンガ部門において大賞および最高賞を賜り、大変光栄に存じます。昨年に続いて2回目の応募でしたが、そこから1年間スキル向上に励み、今回、念願の受賞を果たすことができ、誠に嬉しく思います。本イベント開催にご尽力いただきました実行委員ならびに審査員の皆様、そしてこれまで支え続けてくださいました専門学校での恩師の方々、学友、家族に深く感謝申し上げます。

講評

開始冒頭で「ヤンキーになってくれないか?」で話の掴みは完璧。「教師が不良生徒に真剣に向き合い更生させてゆく」そんな学園ドラマに憧れ教師になった元ヤン。ドラマのような教師体験をしたいからと生徒をヤンキーに仕立て上げる、元ヤン教師の脅迫めいた清々しいまでの職権乱用っぷりが気持ち良い。そんな元ヤン教師の自己中心的な計画が、巻き込まれた生徒の悩みある学生生活に変化を与える話の締め方はコミカルで秀逸な作品です。

(審査員: いけ)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ大賞

[マンガ部門 (高校生)]

「母がスマホデビューしたらしい」 K

ボールペン

幼い頃、仲が良くなかった母と大人になってからスマホをきったけに仲良くなるお話です。

講評

高校生の方が描いたとは思えないほど、大人にこそ刺さるお話で驚きました。とても優しい世界で、スマホで文字を打つのが苦手なお母さんにどんどん愛着が湧いていきました。顔が見えないキャラクターにここまで好感を持たせられるのは、それだけメッセージの文章の作りが巧みだったことは言うまでもありません。また、最後のページの演出もとても効いていて、セリフで説明せず絵で見せているのもまた巧みでした。

(審査員：末永雅弘)



第12回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ大賞

[マンガ部門 (中学生)]

「王八蟹」 俺ちゃん

墨、スクリーントーン、マッキー、漫画原稿用紙

この度大賞に選んでいただいたこと、大変嬉しく思います。人生初めて本格的に描いた漫画、右も左も何もわからずただただ困惑していた記憶があります。しかし、人生で一度は自分のただの妄想を漫画として残してみたいという欲はあったので、描いてる間はずっと楽しく夢のような時間でした。個人的には夢は叶ったことだし、賞取れなくてもかと思っていたのですが、やっぱり評価してもらえるというのは嬉しいものですね。癖になりそうかどうかと思います。この話は中国語についてぼんやりと調べていた時になんとなくできた物語ですが、私は気に入っているので楽しんで頂けると嬉しいです。

講評

絵力が強い。扉の主人公の凛々しいアップ。続く漫画本編1ページ目、舞台となる風景のロングという導入は堂に入ったもので、構図も適切。やるな…という印象を与えた。主人公と叔父のキャラクター設定は明快で、特にふたりの関係性、軽妙な会話で楽しませてくれる。やや説明的なきらいはあるが、主題も明快。絵もストーリーも、描けば描くほどうまくなるのではないかと期待を抱かせる。楽しみな才能だ。(審査員：猪飼幹太)



第12回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ COMIC リュウ賞・優秀賞

[マンガ部門 (一般)]

「オバケ忍者」 阿倉功治

アナログ、CLIP STUDIO PAINT

忍者ってやっぱりいいなと思い描きました。忍者と縁が深い群馬で受賞できたのも何かの縁かもしれません。なので「にんぱく」に行きたいです。

講評

配信者が動画撮影のために幽霊屋敷に忍び込むという現代的なテーマを、明るくコミカルに仕立て上げて、誰が読んでも楽しめる作品になっています。幽霊と忍者を組み合わせたキャラクター造形もコミカルで愉快です。会話のテンポの良さが出色で、ボケとツッコミが効いていて、作者のセンスを感じます。これからも、楽しい作品を楽しんで描いていただけたら…と思います。

(審査員：猪飼幹太)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[マンガ部門 (一般)]

「波の声援」 かずい成

CLIP STUDIO PAINT

この度は、荣誉ある賞をいただきありがとうございます。この話はかなり難産というか、悩んだところの多い作品だったので、この様な評価をいただけたこと大変光栄に存じます。ヤッター。

講評

優秀賞受賞おめでとうございます！読み終えた後、優しい気持ちになれる素敵な作品ですね。音のない漫画の中で音を表現するのは難しいと思いますが、P10～12の少女が歌うシーンはとても美しく印象的で、言葉少ない少女の精一杯の歌声は一体どんなものだったのかと想像を掻き立てられました。前半のゆったり目なページ配分と比較すると、ラストがやや駆け足な展開になってしまったように思います。次回作に期待します。

(審査員：星野正美)



第 12 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[マンガ部門 (高校生)]

「鎖 (UNCHAIN)」 岩崎颯佑

ミリペン、スクリーントーン、修正液

この度、優秀賞を取れてとても嬉しい気持ちです。前回は落選してしまったので今回の作品は前回よりも構成に力を入れて描きました。最初と最後の構成は決めていたのですが、そこを繋ぐ場面は中々決まらず何度も描き直しました。まっ一番大変だったのはタイトルなんですけどね。

講評

優秀賞受賞おめでとうございます！拘束力の違いはあれど、恐らく誰もが心の中に持っている「鎖」をこういう形で一つの作品に昇華させた作者の前向きなメッセージが大変素晴らしいと思いました。大ゴマでの見せ場の作り方も上手です。絵自体はまだ描き慣れていない感もありますが、人物の表情が一つ一つ丁寧に描かれているため感情移入しやすかったです。今後に大いに期待します。

(審査員：星野正美)



第 12 回
GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[マンガ部門 (高校生)]

「まじめロボット」 石原妃華

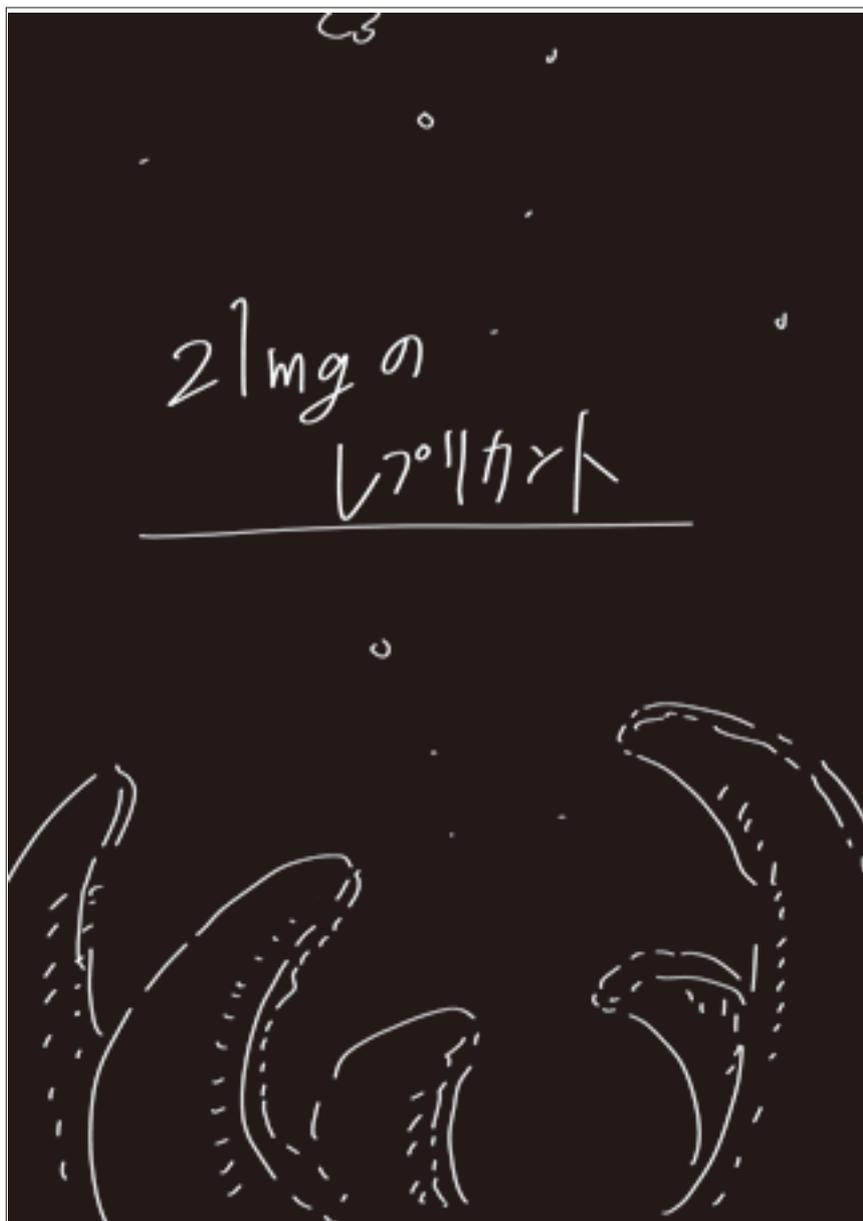
ibisPaint Edu

この度は優秀賞を頂きとても嬉しく思います。この作品は自分の性格で悩んでいる時に思いつきました。物語を16ページで綺麗に終わらせるのは難しかったですが、良い経験になりました。

講評

「まじめロボット」とあだ名をつけられる程完璧超人な委員長に、父から妹だとロボットの「マネコ」が突然託される。何をしても委員長のまねをしてくるマネコ。そんな自分の鏡写しのようなマネコはいつも無理をしているようで、自分が無理をしていたことに気づかされる委員長。キャラデザインが素晴らしく一目でキャラが掴め、表情付けがとても上手い。そして最後にロボットと呼ばれていた委員長とロボットのマネコの柔らかい表情で締められていて、とても可愛らしい作品です。

(審査員：いけ)



第12回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ アイシー賞・優秀賞

[マンガ部門 (中学生)]

「21mgのレプリカント」 XENJA

ibisPaint X

この度は輝かしい賞を頂けて、誠に光栄です。漫画を描いたのは初めてだった上、自分の心が不安定な状態の中で創り出したものだったのですが、おかげでそういう時期でないと描けない作品になったかなと思います。閉塞的でむず痒い感情に触れたい方は、ぜひ読んでいただくと嬉しいです。

講評

レプリカントとは遺伝子工学によって造り出された人造人間。そんな人に似た姿の怪物が灯台守に拾われ一緒に暮らす話。異質ながらも人間臭い怪物に灯台守は心を許し始めるが、怪物はあくまで怪物。「お前は人間にはなれない」と灯台守は怪物に言い切りながらも、「罪を弔いにゆくんだ」と声をかけるラストはこの先にある話を感じさせる。中学生でこれだけのレベルの高い作品を描き上げているのは驚きで、この先もどんな作品を描かれるのか非常に楽しみです。

(審査員：いけ)



第 12 回
GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[マンガ部門 (一般)]

「テレポーテーション！」 さかな

CLIP STUDIO PAINT

この度は、奨励賞をいただきありがとうございます。ずっと描きたかった漫画を描けた上このような賞をいただけて光栄です。これからも描いていきたいです。

講評

バトルシーンの作画に躍動感があり素敵でした。テレポーテーションというシンプルな能力ながら、ストーリーが単調にならないよう場面転換も適度にあり、退屈せず楽しく読ませていただきました。性格が真逆な二人のキャラのやり取りも心地よかったです。後半の意外性がある部分は見事に騙されましたが、読み返した時に気づけるような伏線がもう少し仕込まれているともっと面白くなると思います。

(審査員：末永雅弘)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[マンガ部門 (一般)]

「マントヴァーニの夜に」 鷲尾ををを

CLIP STUDIO PAINT EX

自己投影しながら自分なりに答えを出した作品です。悔しいので次は大賞取れるよう励みます。

講評

青年期の悩みにぶつかった息子と、不器用ながらも息子を思いやる父親の物語。息子が悩む姿に、ステレオタイプにとどまらない肉声の叫びが感じられて、作品に迫真性を加えている。それに対する父親のリアクションも良い意味でリアル。人間描写に厚みのある作品で、意外な展開などなくとも、真摯に誠実に、父親と息子の心情を丁寧に描けば、十分に読む者の心を打つ力をもつのだな…とあらためて大事なことを教えられた思いがした。

(審査員：猪飼幹太)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[マンガ部門 (高校生)]

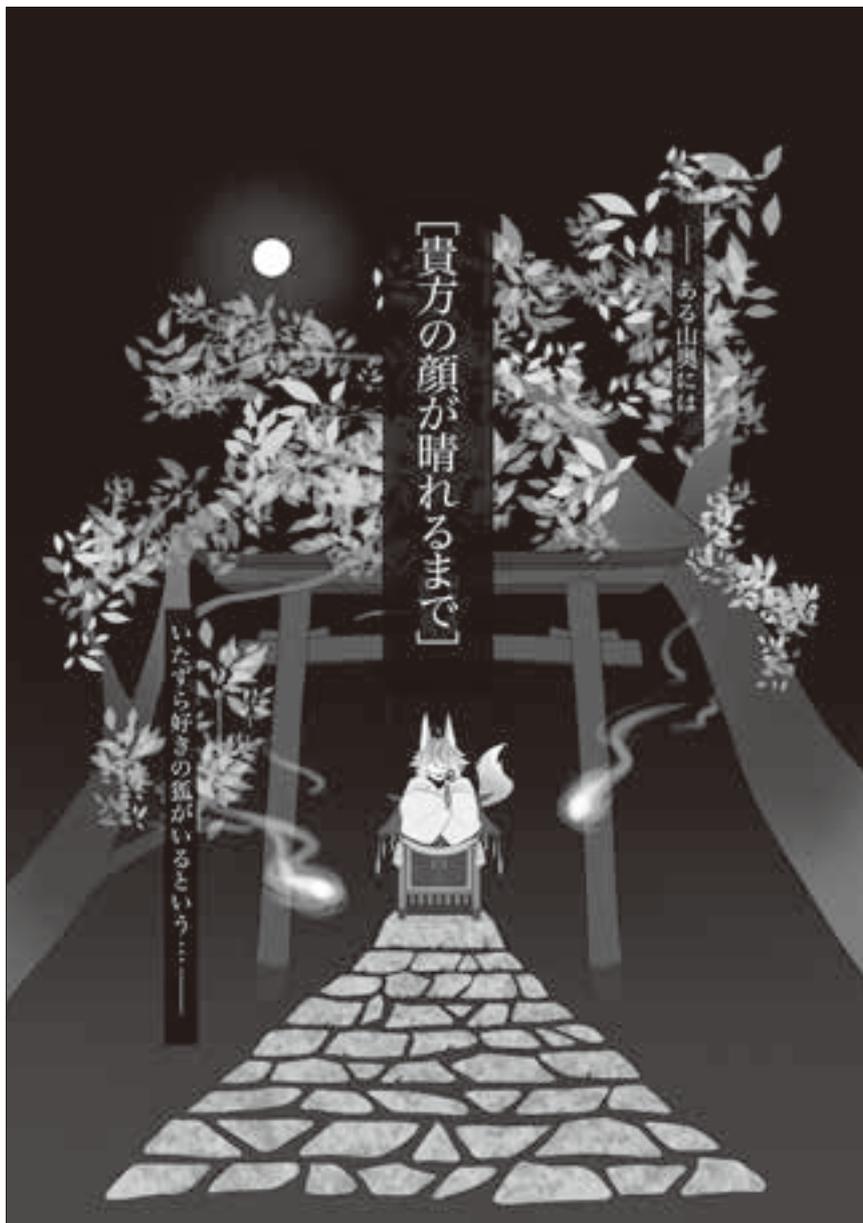
「彼女想い」 香由朱

ケント紙、スクリーントーン、修正液、製図用インク、筆ペン

今回奨励賞を受賞させていただき、とても嬉しかったです。今までは、イラストを中心として描いてきたことが多く、漫画を描いたことが少なかったのですが、不安な気持ちがありました。このように結果を残せてとても嬉しかったです。この作品は、ある学校で、歴史の深い行事となっている「彼女想い大会」(椅子取りゲーム)で、主人公や生徒達が「誰が一番の彼女想いなのか」を競い合うという漫画です。しかし、この行事には3年連続で勝ち続けた異才がいたという伝説があり、その記録を塗り替えられる者は一人として現れていなかったのだが、主人公の代で、その異才のように、他と圧倒的な強さを見つけた主人公のライバルが現れ、生徒達はその強さに圧倒され、さらには恐怖をも与えられてしまった。そんな状況の中、主人公は大会に出ることがない為、ライバルの事はつゆ知らず、自身の不甲斐ない部分を何度も彼女に見せ続けていた為、この現状を変えたいと勇気を持ち、今回こそと大会に参加をした。そんな主人公、生徒達が、各々秘めた想いで一生懸命頑張るストーリーです。

講評

ご存じ【イスとりゲーム】の強さと、恋人への想いの強さを結びつけるという、どうして思いついたのか、ひたすら謎なゲーム設定が、実にパワフルで个性的で出色。舞台は学園。若き男女の恋の熱々ぶりと、スポコン的な勝負に打ち込む情熱とが、判別し難く混在し、他に類のない熱気を生んでいる。画風もその作風によくあっている。この個性をなくさずに、漫画の完成度を上げていってくれたら、今後が楽しみな才能だ。(審査員：猪飼幹太)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[マンガ部門 (高校生)]

「貴方の顔が晴れるまで」 ぶろっさむ

ibisPaint Edu

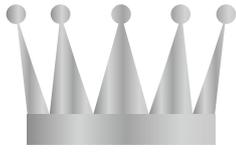
1からストーリーを考えて10ページ以上の漫画を描くのはこれが初めてなのですが、苦勞しながらも描ききった作品で受賞することができ、とても嬉しいです。これからに生かせるよい経験ができたと思います。

講評

いたずら好きの狐と大人しい女性の凸凹ギャグのようなやり取りを楽しく読ませていただきました。いたずらが上手いかないシーンもコミカルで面白かったですし、最後のギャップが出る場面も可愛く、作者さんが読者にこう思って欲しい!と考えているであろうことが素直に表現されていました。コマ割りも趣向を凝らされいながら読みやすい点もGoodでした。

(審査員：末永雅弘)

出勤



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ大賞

[4コマまんが部門]

「出勤」

小舟

コピック、コピックマルチライナー

この度は大賞をいただきありがとうございます。セリフが無くても、コマが進むにつれ女の子の正体が分かるような展開を考えました。部屋の小物や美術館の人達も、楽しんで描きました。来年もまたチャレンジしたいです。

講評

大賞受賞おめでとうございます！審査員全員が揃っての推薦でした。2コマ目までは普通のOLの朝のルーティンワークの様子かと思いきや、3コマ目でいきなりのグローバルな挨拶風景。「え?!何のお仕事?!」と思わせた所へ正に膝を打ちたくなるようなセンスの効いた見事なオチ。起承転結のお手本とも言えるような素晴らしい作品でした。

(審査員：星野正美)



枠の中の真実

第12回 GUNMAマンガ・アニメフェスタ優秀賞

[4コマまんが部門]

「枠の中の真実」

加古瑠莉那

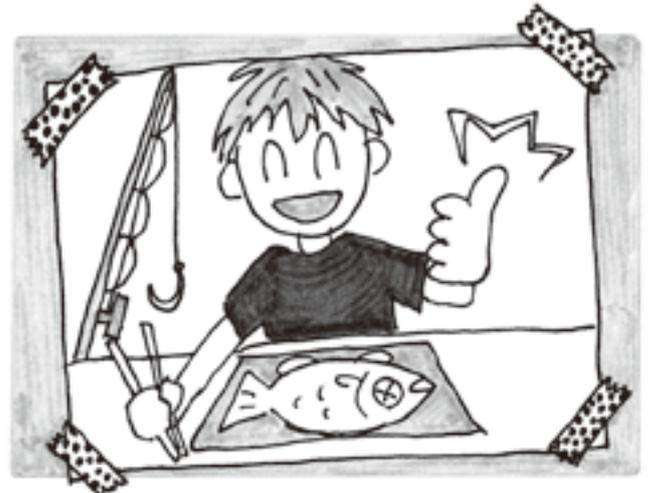
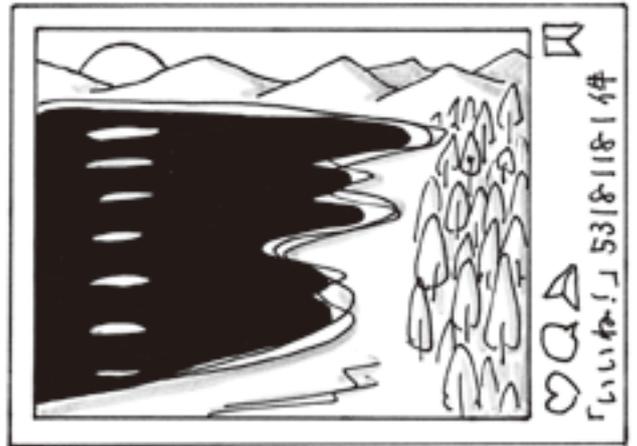
ペン

枠で囲われ、切り取られた世界には、隠れて見えない本当の真実が隠れているかも？とこの作品を描きました。素晴らしい賞をありがとうございます！

講評

この話は分かりやすい環境問題の話である。通して見るとそれがわかるのだが、特色としてコマごとに枠があり、枠を通した目の前の景色や状況が写っている。1コマ目のSNSで高評価を受ける美しい海岸の景色に、4コマ目の釣り上げた魚を楽しそうに食そうとする写真。この2コマだけ見るとは環境問題の真実には結びつかない。“目の前に映るものだけでは気が付かない真実がある”ということまで読み取れる作品になっているのが素晴らしいと思う。

(審査員：いけ)



鶴カモ?!

第12回 GUNMAマンガ・アニメフェスタ優秀賞

[4コマまんが部門]

「鶴カモ?!

うどん☆エリア

ibisPaint

初めて応募したマンガが優秀賞をいただけて感激です！ありがとうございます！「鶴舞う形の群馬県」にちなんで鶴を題材にした昔話のパロディを描いてみました。「もしも鶴を助けたのがおじいさんではなく、ちょいワルな若者だったら？」こんな風に鶴がカモになったかも…?!「甘い言葉には気をつけて」とのメッセージも込めて…！

講評

おなじみ昔話を現代的なセンスで秀逸な4コマ漫画に仕上げています。ブラック要素もありますが、まとめ方がうまいので、後味が悪くありません。実力のある方…という印象でした。絵柄もシャープで魅力的です。コマごとに効果的な演出が工夫されています。これからのご活躍にも期待したい才能だと思いました。

(審査員：猪飼幹太)



誰ダ

第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ アイシー賞・奨励賞

[4コマまんが部門]

「誰ダ」

心太

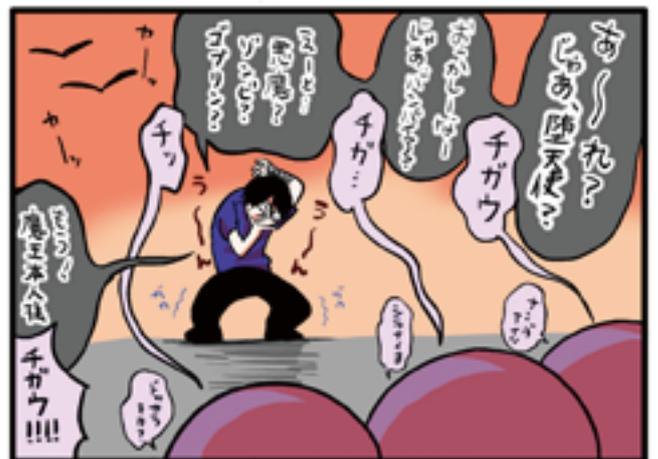
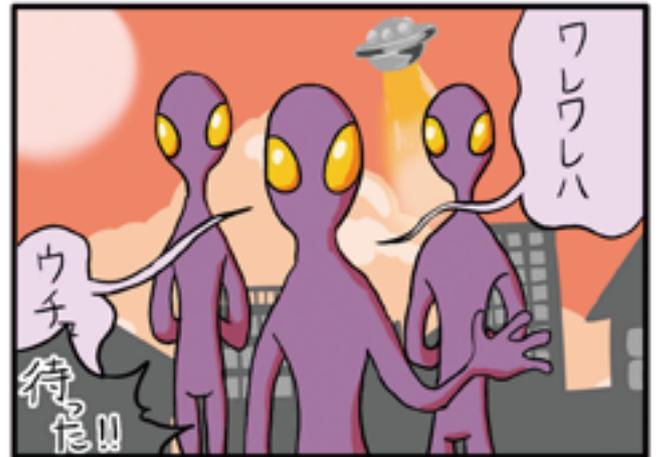
ibisPaint

賞をいただきありがとうございます。彼は一体誰なのでしょうね。

講評

奨励賞受賞おめでとうございます！とても楽しく読ませて頂きました。よくある「我々ハ宇宙人ダ」のセリフを言い切らない内に、見るからに厨二病の人物から「お前らは〇〇だ！」と横槍を入れられる宇宙人達…一体オチにどんな答えが来るのかと期待していた所へ「オ前ガ誰ダ！」という逆の立場からのツッコミが綺麗に決まって、「本当だよ」と笑わされてしまいました。これからも楽しい作品を作ってください。

(審査員：星野正美)



温泉の素…？

第12回 GUNMAマンガ・アニメフェスタ奨励賞

[4コマまんが部門]

「温泉の素…？」

ささなな

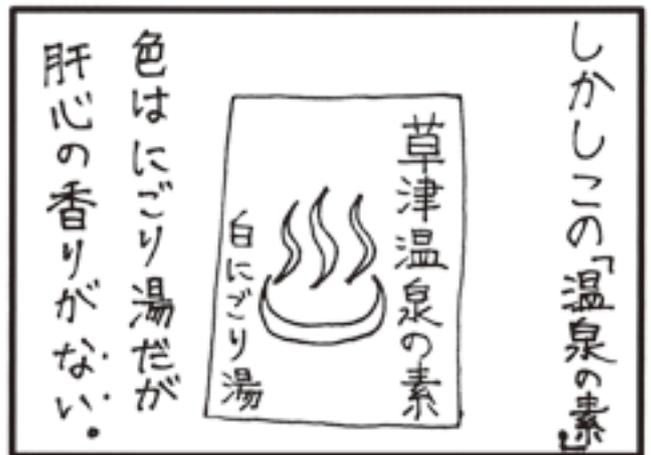
コピックドローイングペン、鉛筆

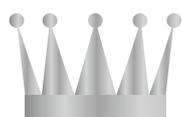
今回初めて応募するにあたって、大好きな草津温泉をネタに受賞させていただけたこと誠に嬉しく思います！この作品は入浴中の夫がおならをした出来事から思いついてしまいました。入浴剤に満足できないネコくんが、温泉気分を体感するためにスカンクくんをお風呂に招待するが、あまりの強烈な匂いに失神してしまった、というシンプルなオチを描きました。

講評

「ちょっと変な匂いがする温泉」というあるあるネタを想起させるのがこの4コマの面白さですね。3コマ目でスカンクが出てきた時点で嫌な予感がしますが、その予感を裏切らないのも平和的で良かったです。差し出がましいアドバイスですが、4コマ目で失神した猫が、顔を湯の中に浸けて「ぶくぶく」と泡を吹いていると、絵的に面白くなるかもしれません。

(審査員：末永雅弘)





第12回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ特別審査員賞・大賞

[アニメーション部門]

「REDMAN」 キムソングエ

デジタル2D (CLIP STUDIO PAINT)

(14分18秒)

大賞を受賞することができ、本当に嬉しく思います。<REDMAN>が多くの人々に届く機会をいただけたことに、心から感謝しています。私は、人間を最も人間らしくするのはその内なる矛盾だと考え、<REDMAN>を企画しました。主人公レッドは、ヒーロー組織「メガファイブ」解散後、仲間の死をきっかけに、自身の矛盾に気づきます。正義を追求していた彼は、やがて法の前で無力さを感じ、商業的に消費される存在へと変わっていきます。さらに、彼の正義が劣等感や他者の承認欲求に基づいていたことに気づき、仮面を脱ぎ、アカギとして生きる道を選びます。<REDMAN>を通じて、観客が自らの「仮面」に気づき、内面的な安らぎを感じる作品にしたいと考えています。

講評

ジャンルの違う様々な作品の中からこの審査員特別賞を選ぶと伺い、どんな点を比較するべきかとても悩みましたが、今回は「どの作品に一番驚いたか」を基準に各作品を拝見しました。それぞれの作品に多様な驚きの種がありましたが、中でもこのアニメーション作品『REDMAN』を選ばせていただきました。次の展開が読めない話とそのテンポ、シーンを通して計算された演出、カット毎の味のある画面と作画の工夫など、大小様々な驚きが埋め込まれている上で、一つの作品としてしっかり完結しており、とても見ごたえがありました。(審査員：柿本広大)

日本ではお馴染みの5色戦隊ヒーロー。本作も、もちろんレッドが「正義のリーダー」として主人公となっているが、中身は正義VS悪という二項対立に疑問を呈する。メンバーが去り、ひとり残ったレッドの元に、元同僚ブルー殺害のニュースが届く。正義のヒーローが振る舞うべき正しさとは何か？正義とは何か？レッドの葛藤が加速するというシリアスな内容だ。スタジオ4℃や押井守の影響を強く感じるものの、テーマ性やその世界観を支えるだけのルック、作画、背景へのこだわりや完成度の高さを加味し、大賞に相当するとした。個人的な感想を述べるとすれば、レッドに多くを語らせないのであれば、もう少し他のメンバーとの関係性を丹念に描くか、悪側の言い分にも焦点を当てるべきではなかったかと思う。そうしないと、レッドへの共感が弱いまま物語が進行し、結局はブルーの恋人(ピンクなのか?)の顔が頭から離れなかっただけに思ってしまうように思う。ぜひ、今後も自分のための作品を作り続けて欲しい。(審査員：岩崎宏俊)



第12回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ コピック賞・優秀賞

[アニメーション部門]

「地球にねがいを」 はるのはな・もりたあやこ

CLIP STUDIO PAINT、After Effects

(3分00秒)

この作品は、地球に憧れたアイドル月うさぎが自転車に乗って地球に漕ぎ出していくというお話のミュージックビデオです。この度はこのような素敵な賞をいただけてとても嬉しいです。ありがとうございました！

講評

うさぎを主人公にしたMV風の作品。繰り返しや複製、止め絵を使い、カットによってフレームレートを変え、力を抜くところは抜いているのだが、それが手抜きや妥協には見えず、心地の良いメリハリになっていた。音楽と動きのタイミングの合わせ方が気持ちよく、各カットに工夫が感じられ、丁寧な作りに好感が持てた。とても良く出来てはいるが、音楽、絵柄、ストーリーに「新しさ」はさほど感じられず、そこが残念だった。

(審査員：大山慶)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[アニメーション部門]

「ヨビとアマリ」 比留間未桜

CLIP STUDIO PAINT EX、After Effects、Audition、Media Encoder、
Photoshop、Illustrator、Blender、GarageBand

(11分30秒)

この度は、このような賞と作品発表の機会をいただきまして誠にありがとうございます。『ヨビとアマリ』は、私が現在まで日常を生きる中で漠然と感じてきた「自分は存在している意味があるのだろうか」という不安感と、私がよく遊んでいたプレイング・カードのデッキに含まれていた2枚の白紙のカードの存在から生まれた物語です。役目をこなしているのかこなしていないのか曖昧な存在である白紙のカードが、未だ社会の中で生きている実感を得られない存在と重なるように感じたことから制作が始まりました。

講評

随所にダンスシーンが用意されており、この作品の見所、また、大きな個性の一つとなっている。デザインや動きのクオリティが高く、キャンバス地のようなテクスチャも効果的だった。技術は素晴らしいので、ストーリーや、それを伝えるための演出力をもっと伸ばして欲しい。間(セリフや音楽のない時間、一枚絵のみで動きのない時間)が長い、あるいは、間の長いカットが多すぎると感じた。テンポよく編集し直すだけでも、かなり改善されるように思う。

(審査員：大山慶)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[アニメーション部門]

「神々来々」 武田椿

Procreate、PremierePro

(10分26秒)

この度は選んで頂きありがとうございました。

講評

「東京のはずれにある助産院で産まれた私は…」で始まる、女性の独白によって進む作品。ストーリーのほとんどは言葉によって伝えられ、映像はそれを少し抽象化し、部分を描いている。様々な絵柄や技法で作られる映像は一貫して不気味で、切迫感を感じさせる。実写パートや文字のみ、動きのないイラストのみのカットがそれなりの量あるので、「アニメーション作品」というよりは、「様々な技法で作った映像作品」という印象を持った。

(審査員：大山慶)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[アニメーション部門]

「エレベーターレター」 竹川海

Dragonframe、Clipchamp

(2分46秒)

この度は栄えある賞をいただき、誠にありがとうございます。この作品は、「知らない人同士の小さな優しさ」というテーマで制作しました。舞台は、同じ建物に住んでいても、姿さえ見たことのない人がたくさんいる、マンションのエレベーターです。ストップモーションアニメの面白さも感じていただければ嬉しいです。

講評

エレベーターという、パブリックでありパーソナルである空間で巻き起こる心温まるストーリー。2分という短い映像に登場するのは住人のねずみだけであるにもかかわらず、ポストイットのやり取りで沢山の住人たちを感じさせる構成は見事。唯一勿体無いのは、エレベーターに乗るシーンでエレベーターが真っ暗なことだ。ポストイットなどの先バレ防止の苦肉の策だったのかも知れないが、暗闇の中に消えていくように見えてしまうので、前後の繋がりが不明瞭になったように思う。ぜひ、次回作では映像のカットの繋がりにも注意を向けて欲しい。

(審査員：岩崎宏俊)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ最高賞・大賞

[イラスト部門 (一般)]

「不動猫王」 鈴木千絵

コットマン細目、色鉛筆

このたびは大変大きな賞をいただき誠にありがとうございます。精神障害のある私を支えてくれる母やケアマネージャー、施設にクリニックの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。作品についてですが、我が家の猫たちがモデルです。猫と仏さまを合わせたキャラクターを色々考えていて「不動猫王」が生まれました。これからも手描きでイラストから絵画まで描き続けていきたいです。

講評

ご応募頂いたもう2点の作品を含む他の大賞候補から選ばれた決め手は、ぱっと見て分かりやすい色彩構成とキャラクター性に加え、タイトルを「不動猫王」とした遊び心でした。選定にあたっては作品性、個性、テーマ性も大切に考えさせていただいていますが、一目で鑑賞者を引き込む分かりやすさと、奥行きを併せ持つ作品だと思います。大賞受賞おめでとうございます！

(審査員：有田満弘)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ大賞

[イラスト部門 (高校生)]

「現世」 90歳

顔彩ホルベイン

【コンセプト】 少女が学校で夢見ていたものとは

講評

デッサンと陰影表現が秀逸。柔らかな日差しに穏やかさを感じる。だが目を凝らすと、とんでもない文字が一つの席から浮かび上がる。見落としそうな微かな文字を認識した途端に震撼！あの席の子は大丈夫か!?ここで何が起きた!?この場面の前後が気になって仕方がない。「現世(ウツシヨ)」というタイトルも意味深く、うつろうこの世は辛くとも、やがて来世が訪れる、といった事だろうか?様々な物語を観る者の心に宿らせてしまうこの作者の名は“90歳”。納得の90歳。

(審査員: 雨月衣)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ大賞

[イラスト部門 (中学生)]

「廃墟都市の夜」 星ねこ。

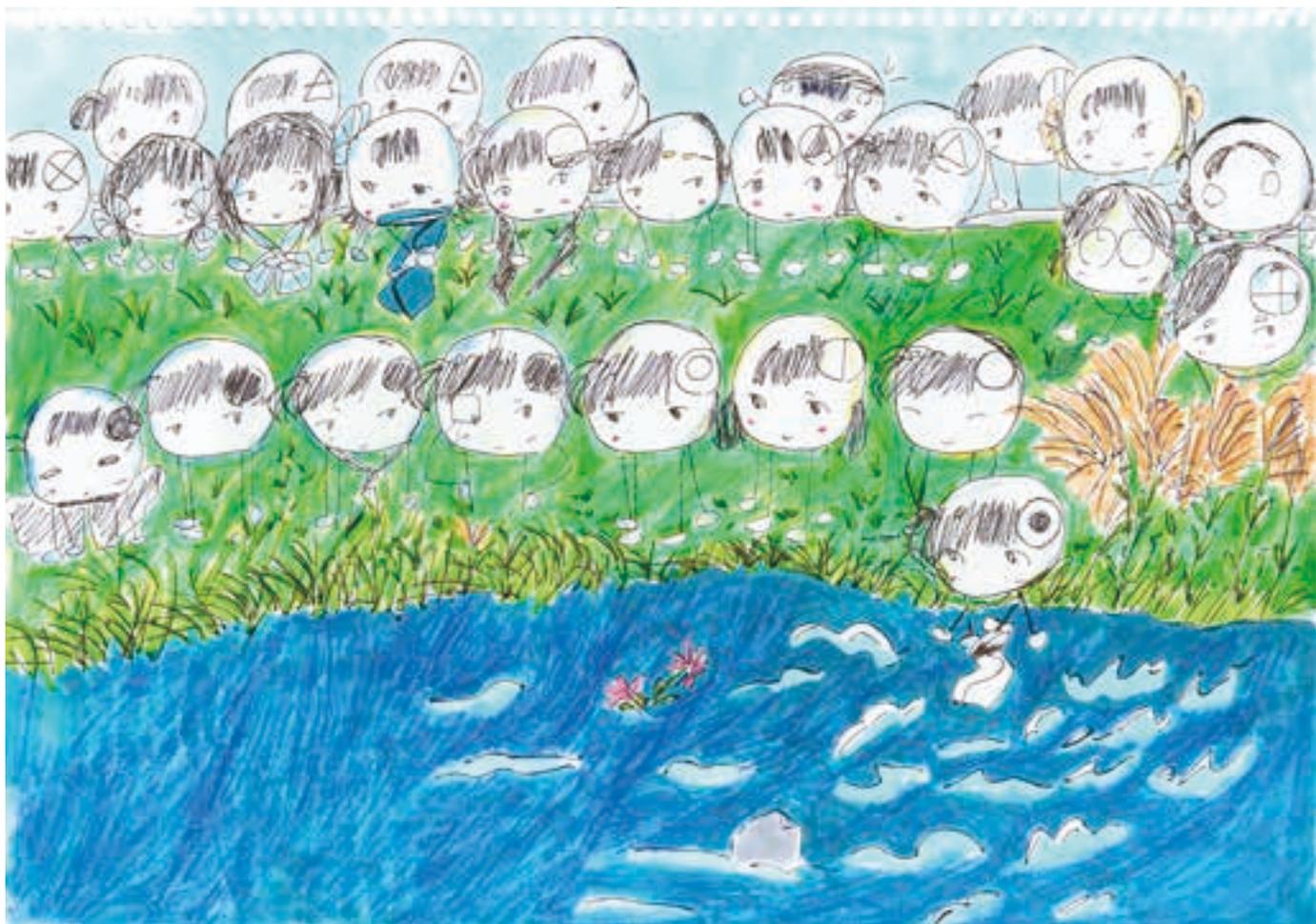
コピックマルチライナー、ボールペン

この度は大賞に選んで下さりありがとうございます。作品を完成させるまでに、時間がとてもかかりながらも仕上げられてとても嬉しかったです。廃墟の世界観が好きなので、作品は廃墟をテーマにしました。建物1つ1つを丁寧に描くことが出来ました。これからも、良い作品を描ける様に頑張っていきたいです。

講評

これでもか…！と折り重なるように描かれた廃墟のビル群の向こうには、大きな宇宙が広がっている！この大胆な構図はインパクトがありました。手前にいる女の子が見ている方向は、大きな月なのか、はたまた崩壊した街なのか…。細かく見るほど、いろんなストーリーが見えてくるイラストです。作者が普段から街をどのように観察しているのか、その洞察力や想像力が窺える説得力のある1枚です。

(審査員：國分郁子)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ大賞

[イラスト部門 (小学生)]

「気象妖精と秋の土手」 五十嵐野分

ボールペン、色鉛筆、コピック

まさか自分が選ばれると思っていなかったのもとても嬉しいです。ありがとうございます。この絵を描き始めてから、天気に興味を持ちました。天気にはそれぞれ個性があり、それぞれのいいところ、悪いところを共感しながら秋になりはじめた土手にみんなで仲良く遊んでいる光景を描きました。

講評

気象衛星じゃなくて気象妖精！いいキャラクターですね。大好きです！頭部から細い手足が生えているのがかわいいです。それぞれ妖精の個性も描き分けています。この気象妖精たちが集まって土手を秋の装いに変えていくのでしょうか。土手の右側にススキが生えていて秋らしさを演出しています。この土手をすっかり秋に変える仕事が終わったら季節の風に乗って次の場所に飛んでいきそう。想像が広がるイラストですね。

(審査員：いまいずみひろみ)



第12回

GUNMA マンガ・アニメフェスタコピック賞・優秀賞

[イラスト部門 (一般)]

「時の重なり」 キューピー

アクリル絵の具

良い賞をいただきありがとうございます。今、世界は争いが途切れる事無く続いています。遠くに見える景色が穏やかであり、日本の平和・世界の平和が永く続きますようお願いしています。老体ですが何時迄も作品を創り続けたいと思っています。

講評

長い時間が経過した時空間に少女がひとり、背中を向けて遠くの空を見えています。主人公はあくまで少女として描かれていますが、この少女は本当は何歳なんだろう…。10歳…それとも70歳…？ 時の重なりの中で本当の年齢はわかりません…。主人公はあくまで少女の心を持ったまま現在を生きているんだと思います。足元には長い時間を過ごしてきていらなくなったものや使わなくなったものがまとめられています。時間を表す時計も捨てられています。まだ現役で使われているような信号機は全て赤の表示です。すなわち止まれの指示です。それが少女に何を伝えているのでしょうか…。空には大きな白いバラが浮かんでいます。それが主人公の憧れか、夢か、希望なのかわかりませんが、長い時間を経過してもずっと大切にしている何かに見えます。作者のキューピーさんは72歳。この作品がとてもリアルに感じました。
(審査員：いまいずみひろみ)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[イラスト部門 (一般)]

「部品」 阿部晃生

CLIP STUDIO PAINT

この度は荣誉ある賞を頂き光栄に思います。今回初めて応募させて頂き、何を描こうか悩んだ末に自分の強みを活かしつつ、食べ物の持つエネルギー感をイメージしながら釘や電池などに置き換えて描いてみました。

講評

一次選考の段階からおもしろいと思いきり票を入れさせて頂いていた作品です。抑揚のない線、抑えた色使い、絵としては非常に分かりやすいのですが、なぜどんぶりに盛り付けられ、卵をトッピングされ、レンゲが添えられているのか？これらを通して何を表現しようとしたのかに思いを巡らせてしまいます。写真ではなく絵、この線と色だからこそその雰囲気のある作品になっていると思います。

(審査員：有田満弘)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[イラスト部門 (高校生)]

「天体観測」 天川結愛

シャープペンシル、ibisPaint

この度はこのような素晴らしい賞をいただくことができ、大変嬉しく思っております。この経験を励みに、今後もより素敵な作品が生み出せるよう、頑張りたい所存です。この作品は、ドラム式洗濯機のドアが、宇宙ロケットの窓に見えたことをきっかけに描いたイラストです。夢と現実の狭間にいるような、見れば見るほど物語が広がるような……そんなイラストを目指して描きました。是非みなさんも、このイラストに思い思いの、さまざまな物語を思い描いていただけたら嬉しいです。

講評

発想が良い。洗濯機のドアから宇宙を眺めるなんて！ここは宇宙船なのか!?人物の顔が見えないのも表情が想像できて良い。寒色系の色合いにちりばめた星屑の様な白い点々が効果的で宇宙感を醸し出している。カゴのぬいぐるみが柔らかい感触と和みを与え、かわいいワンポイントだ。背景一部のパースのズレは、巧みな着色でまとまりがありさほど気にならない。このファンタジックなイラストにおいて現実的なパースは必要ないのかもしれない。

(審査員：雨月衣)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[イラスト部門 (高校生)]

「歩みつづけて」 はらり

ibisPaint、MediBang Paint

この度はこのような栄誉な賞を受賞することができて本当に嬉しいです。まだ高校生の彼女らが楽しみながら道を歩いているように、私もこれから人生を楽しみながら歩んでいきたいです。

講評

なんと瑞々しく気持ちのいい作品！画面半分以上の広い空。思い切り引いて小さくした人物。ピントをぼかした傘のアップ。それらが見事に空間の広がりや奥行きを表現していて抜け感があって爽快！水の映り込みや雲の表情、小さくとも綿密な人物描写も素晴らしい。繊細で淡い色彩は透明感があり美しい。少し気になるのは地面が横断歩道だとすると白線が過ぎる。何か意図があるのか？そこはリアリティを考えなければ良しとしたい。

(審査員：雨月衣)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[イラスト部門 (中学生)]

「穏やかな時間」 前原芽生

Procreate

今回は優秀賞に選出いただき、ありがとうございます。自分の好きな雰囲気が表現できた作品だったので、なんとなく応募させていただきましたが、想定外の評価をいただき、嬉しかったのと同時にとてもびっくり!!でした。

講評

デジタルで描かれた作品です。タイトル通り全体に穏やかで淡い雰囲気が出ています。バックの光に照らされた木々に比べて、こちらを見つめる少女は少し逆光気味に描かれているのが作者の視点の鋭さと技術を感じます(カメラで写したらこうなるということを知っているの表現力)。何かを語りかけているかのように少し開いた口元、リボンで束ねた髪の毛のうねり、キャミソールからでてくるやわらかな肩のライン。このイラストも良い意味で、アイドルのプロマイドのような雰囲気をただよわせています。カメラでベストな瞬間を切り取ったようなイラストですね。

(審査員：いまいずみひろみ)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[イラスト部門 (中学生)]

「司書2人絵」もちも

Procreate

天使に拾われて、天界の大図書館で働いている悪魔の兄妹を描きました。

講評

すごい完成度だと思います。デザインも秀逸、必要なものは大きく、必要でないものは消してしまうのではなく小さく…。司書2人絵ということで背景には線画で描かれた本が積んであり、その周りにはやはり線画のバラが配置されています。このイラストをそのまま本のブックカバーにしてもいいですね。この作者にしかないものが完成されつつあるのがすごいです！中学生なので今後の変化成長は必ずあると思いますので、作者本人が自分の感性や技術と向き合って戦うことになりそうです。応援したくなります。

(審査員：いまいずみひろみ)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[イラスト部門 (小学生)]

「ドラゴンの豚焼」 手塚創太

鉛筆、色鉛筆

ありがとうございます。マンガ家、イラストレーターになる夢の自信ができました。

講評

余白の取り方、抑制の効いた色使い、そしてなにより中世の写本のようなデフォルメとスタイルに強い印象を受けました。中世の絵画は個々のモチーフに細かく意味づけがなされているものですが、この絵を見ていると遠くに飛んでいる3羽の青い鳥や、塔にからみつくツタなどに何か意味が隠されているのではないかと考えてしまいます。この個性がどのように発展していくのが楽しみです。

(審査員：有田満弘)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[イラスト部門 (小学生)]

「たぬちやいな」もず

Procreate

たぬきの可愛らしさが色んな人に伝わると良いなと思って描いた作品です。女の子に、たぬきらしさが出るように工夫しました。色のグラデーションや影にもこだわりました。優秀賞を受賞でき、とっても嬉しいです。

講評

色とモチーフの配置が分かりやすいだけでなく、背景の小物含め程よい密度感の絵に仕上がっていると思います。ツールの使いこなしも見事です！タイトルにも含まれているたぬきの存在感が弱いように思いますので、おんなの子の間に関係性を感じさせる演出なり構成の工夫があるとより良くなるのではないかと思います。とはいえ、小学生とは思えない完成度の高さ、今後の成長が楽しみです！

(審査員：有田満弘)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト部門 (一般)]

「泡沫」 八咫磨

顔彩、水彩絵の具

この度は受賞作品に選んで頂きありがとうございます。とても嬉しく思います。水の透明感やキラキラとした雰囲気を出せるように色を塗りました。髪の毛のグラデーションがお気に入りです。

講評

左右対称の強い構図と、淡い繊細な水彩のにじみやグラデーションを素直にすっきり見せて、濁りのないストレートな世界観がとても好感を持てるイラストです。少女のまつ毛や瞳に見せどころとなる補色をギュッと使い、チャーミングなキャラクターが引き立っています。王冠のような水の泡の円環と、髪の毛の色にグラデーションで色差しされた黄色の円環など、実はこの1枚の中でいろんな仕掛けがありますね。シンプルながら、見せ方がとても上手で清々しい気持ちになりました。

(審査員：國分郁子)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト部門 (一般)]

「Infectum Lunam」 櫻庭小夜

iPad Pro、CLIP STUDIO PAINT

夜の闇に、少年は、とある悲しみのあまりに、胸元(心)から砕け始める。記憶を宿す果実が放出され、どこからか舞い降りた、透明で、少し大きくて、まだ、温かな手が、少年の頬を撫で、果実の蔓を指に巻きつけては、「ふたり」、思い出に浸っている…。タイトルの「Infectum Lunam」は、「濡れた月」という意味です。悲しみを「新月」と「砕け散る硝子」に見立てて描きました。この絵で奨励賞を頂けたこと、とても嬉しく思っています。今後も日々表現を追求し、精進して参ります。

講評

白黒のみの繊細な点描で描かれた美しいグラデーションの独特の儂い世界観に思わず目を奪われました。胸から飛び出しているのは心臓ではなく、何かの果実でしょうか。ピシッと割れたガラス、ふわふわと肌を覆う羽の質感のディテール、指先がしっかり見せたいポイントを包み込んでいる構図など、絵の隅々まで、作者の意識を感じるととても美しいイラストです。

(審査員：國分郁子)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト部門 (高校生)]

「めかし林檎」 菓子

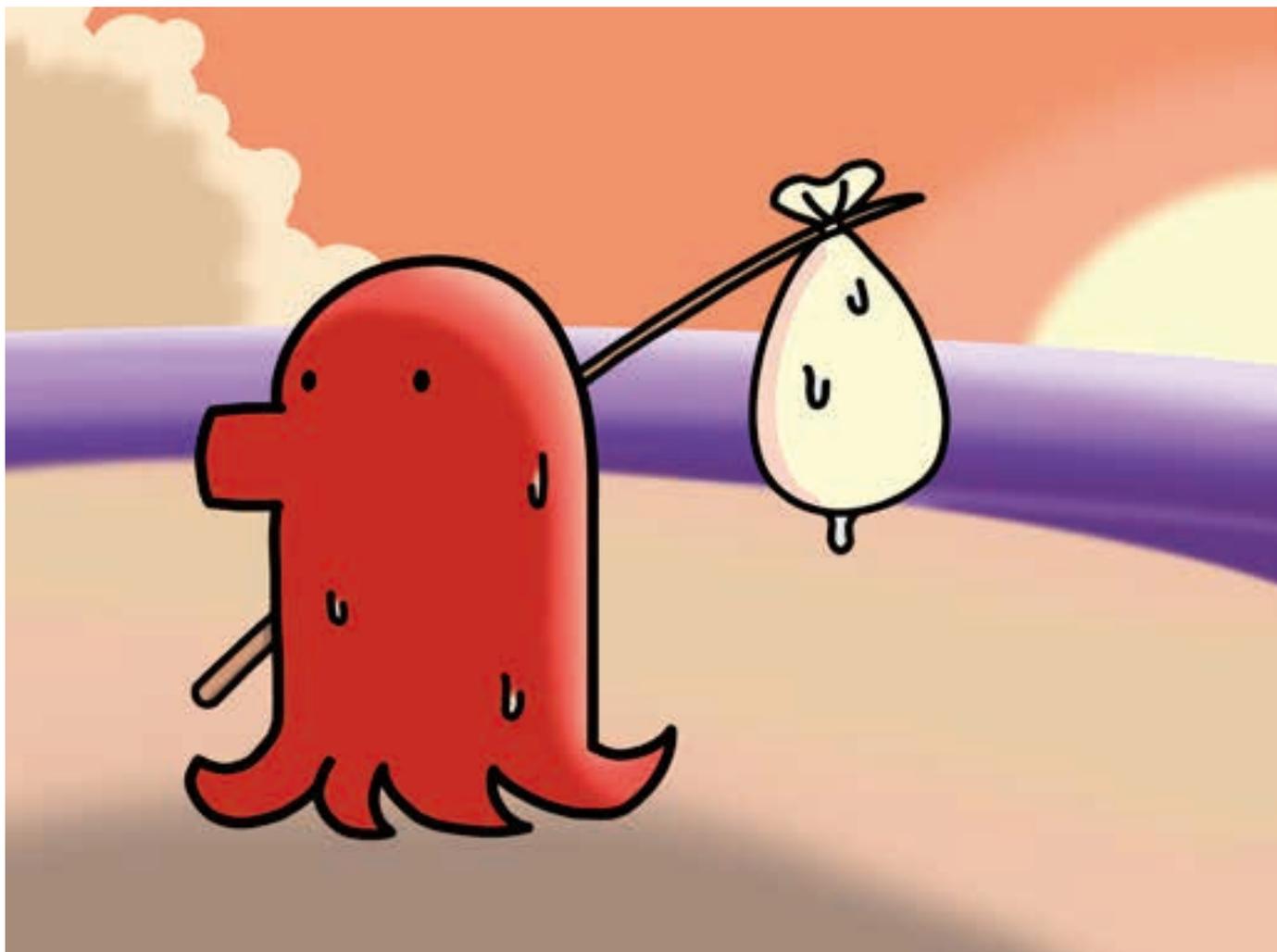
CLIP STUDIO PAINT

今回の受賞、本当に嬉しいです！林檎の瑞々しさや可愛らしさをイメージしました。

講評

林檎の赤が基調となって全体のトーンを作っています。他の色が少ないので真っ白の背景に浮き上がってきていますね。色の使い方にセンスを感じます！描写は細かく、イラスト内に散らばる林檎にはダルマやバラなどが、ナイフで林檎の赤い皮を剥いて表現されています。両手で林檎を持つ少女自身もまるで林檎の妖精のようです。上から下がっている赤い帯は林檎の皮なのかなと思いました。楽しい表現ですね。この作者の別な色のテーマのイラストも見てみたいです。

(審査員：いまいずみひろみ)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト部門 (高校生)]

「侵略タコ」 森正宗

ibisPaint Edu

可愛らしい見た目ですが、その正体は深海からの侵略者。少しの荷物を持って陸を支配に来ました。

講評

太い線のメインキャラクターのタコのギャグ感と、美しいグラデーションの景色を対比させており、なんともすっきり潔い！思わず誰もが目に止まる印象の強さと、クスッと笑ってしまう独特の世界観が唯一無二のイラストです。このイラストを1度見ると頭から離れなくなる…というくらいインパクト大で、作家性を強く感じます。ぜひ他のイラストも拝見したいです。

(審査員：國分郁子)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト部門 (中学生)]

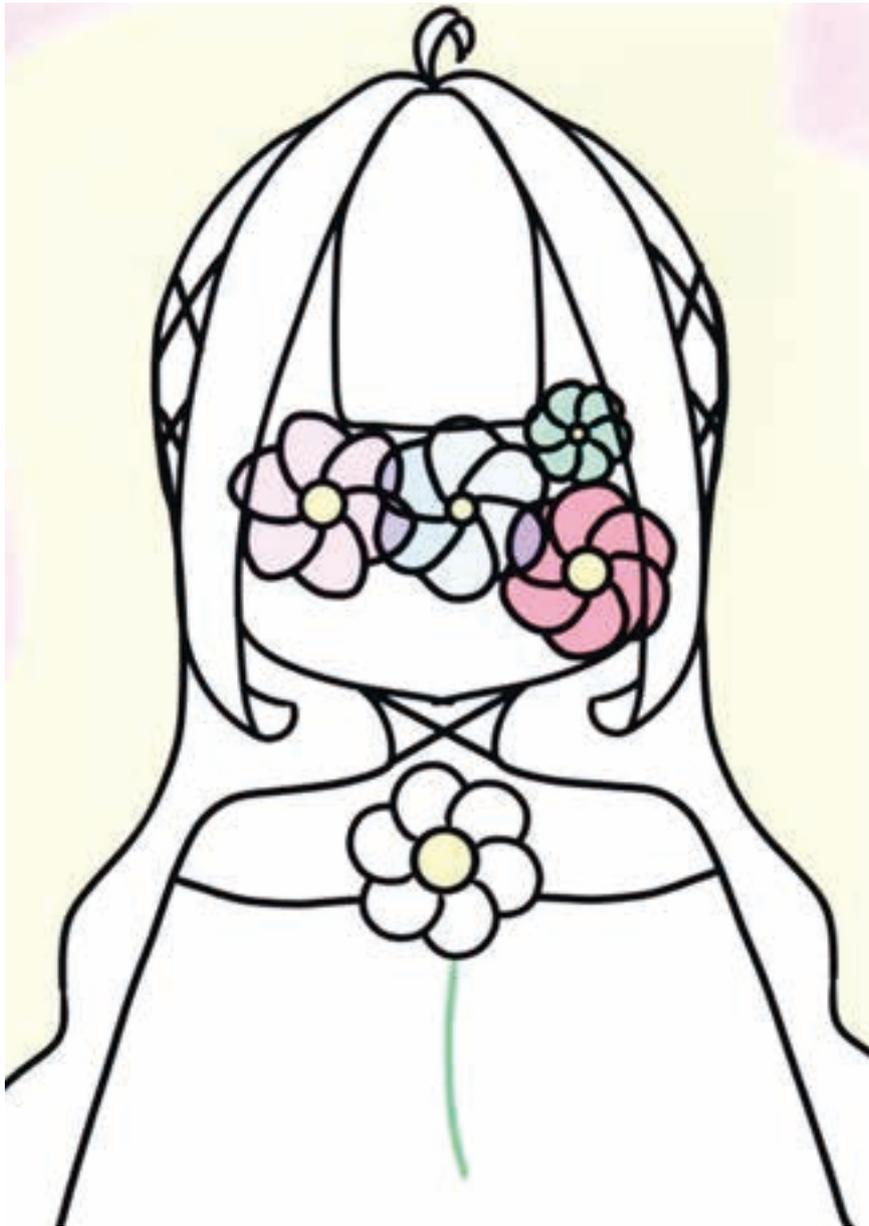
「異世界都市」 河野園子

ibisPaint

受賞できて嬉しいです！建物やタイルにこだわって描きました。

講評

中央が開け奥に明るい白亜の城。前方端に暗く描かれた人物。普通ではない構図がとても良い。この明暗の対比はこの世界の縮図に見える。統治者や富裕層を貧困層の市民が犠牲になり支えているかのようだ。戦時下なのか、空には不思議な形の飛行機群が飛び交い、少年は軍服姿に見える。地べたにうずくまる人。煙突からの黒雲。子供を背負う粗末な身なりの母親。隅々まで丁寧に描かれ説得力があり、映画の一場面のように引き込まれる作品。
(審査員：雨月衣)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト部門 (中学生)]

「花」 えりか

Sketchbook

奨励賞を受賞させて頂き、ありがとうございます！私は、このような素晴らしい賞を受賞した事が無かったのでとても嬉しく思います。これからも楽しみながら絵を描き続けたいです。

講評

タイトルである花と背景以外には着色されておらず、非常にシンプルで見た瞬間に描かれている物のすべてを把握できる反面、正面から画面に向き合う人物の表情が花で隠されているため、絵が表現しようとしている感情が楽しいのか、悲しいのか、あるいはもっと複雑なものなのか、直接的に読み取る手掛かりがありません。鑑賞者自身が反映される高度な表現になっていると思いました。

(審査員：有田満弘)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト部門 (小学生)]

「キラキラアイドル」 かこぴょん

イラストマーカ、ペン

2人の可愛いアイドルがスポットライトを浴び、楽しいライブをしているところです。一生懸命描いたので、選んでもらえてとても嬉しいです。

講評

目に飛び込む派手な色合いが印象的。彩度高めの色同士だがケンカせずポップに表現されている。既存のアニメや漫画にさほど影響されていない所も好感が持てる。何より、キャラクターの生き生きした表情や仕草がとってもかわいい！アイドルが大好き、絵を描くのが大好きという感情が伝わり思わず笑顔になる作品。絵を描く喜びを感じ始めた小学生の頃を思い出させる。このまま絵を楽しんで描き続けてほしい。

(審査員：雨月衣)



第12回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト部門 (小学生)]

「ファイナルオールレジェンドエンドひよまる」 まさにゃん

CLIP STUDIO PAINT、Photoshop、Firefly

受賞できてうれしいです。ひよまるは僕が小学2年生のときに考えたキャラクターです。仲間や敵なども描いていて、現在は400体を超えています。これからもたくさんイラストを描いていきたいです。

講評

赤、黄、水色、むらさき、たくさんのはっきりした色を使いながら、ぼかした背景と線を使って、メインのキャラクターの魅力をしっかり見せていますね。生成AIを使用しているようですが、キャラクターの目が虹色になっていたり、こだわりどころをきちんと作品に落とし込んで絵作りしており、とても楽しい魅力的なイラストです。
(審査員：國分郁子)